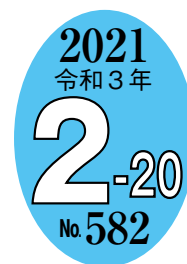




地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空) は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート



延徳田んぼ
「4羽の白鳥の踊り」

中野市と小布施町の間に広がるこの一帯は、かつては「遠洞湖」という湖だったそうです。室町時代の延徳年間に耕作地として開発され、これが延徳という地名の由来になっています。この地を二年ぶりに訪れた冬の使者たち。コロナ禍の暗いニュースばかりが目立つ昨今ですが、時折見せる白鳥のダンスは、さながらバレエ組曲のように優美なものでした。

- 長野しんきん月例調査レポート 2
- 企業アンケート 2021年の経営見通し ② 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン 8
- 北信濃 江戸時代の風景 (78) 伊能忠敬、須坂から松代城下へ 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラー
にてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)



長野信用金庫

生産は5カ月連続の上昇 前年同月比は16カ月連続の低下

◇2020年11月の長野県鉱工業指数

(速報：季節調整済指数)

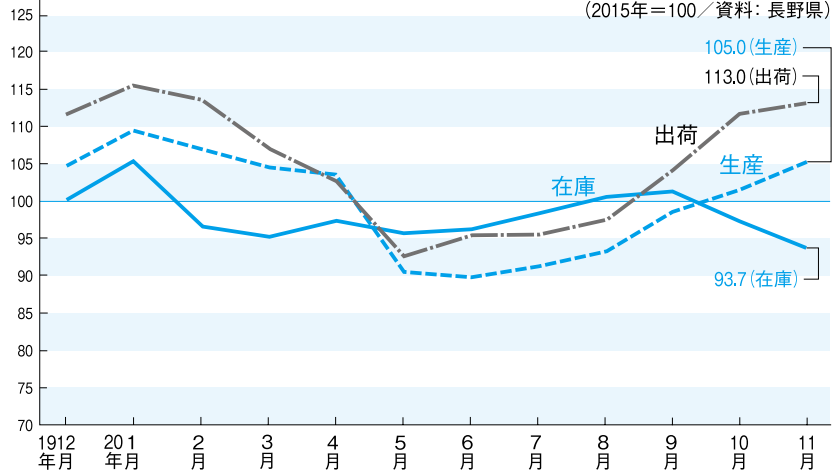
生産は105.0(前月比+3.2%)で5カ月連続の上昇、出荷は113.0(同+1.0%)で4カ月連続の上昇、在庫は93.7(同▲3.9%)で2カ月連続の低下となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は105.3(前年同月比▲2.5%)で16カ月連続の低下、出荷は108.9(同+1.0%)で2カ月連続の上昇、在庫は99.9(同▲8.5%)で13カ月連続の低下となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移

(2015年=100/資料：長野県)



[生産] 上昇…食料品、電子部品・デバイス、情報通信機械など9業種

低下…化学、はん用・生産用・業務用機械、金属製品など8業種

[出荷] 上昇…その他、電子部品・デバイス、輸送機械など9業種

低下…情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械、プラスチック製品など8業種

[在庫] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、プラスチック製品、その他など5業種

低下…電子部品・デバイス、電気機械、金属製品など11業種

月例調査

全産業の「売上高」は減少

前回調査 2020年11月

◇1月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(28%)

が5%減少、「減少」割合(44%)が横ばい、「不変」割合(28%)は5%増加、全体としては減少の状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) 増加 → 不変 ⇄ 減少
改善 ⇄ 悪化

全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前回			今回	前回調査比	改善/悪化	回収率
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	
全産業	33.0	23.2	43.8	27.7	28.2	44.1	203社(回収率85.7%) 30人未満 71.9% 30人以上 28.1%
製造業	29.0	24.6	46.4	27.7	28.2	44.1	203社(回収率86.0%) 30人未満 71.9% 30人以上 28.1%
建設業	25.4	40.7	33.9	27.7	28.2	44.1	70社(回収率83.3%) 30人未満 62.9% 30人以上 37.1%
卸小売業	32.6	26.1	41.3	27.7	28.2	44.1	59社(回収率83.1%) 30人未満 86.4% 30人以上 13.6%
サービス業	37.5	0.0	62.5	27.7	28.2	44.1	46社(回収率88.5%) 30人未満 82.6% 30人以上 17.4%
輸送業	10.0	40.0	50.0	27.7	28.2	44.1	8社(回収率88.9%) 30人未満 87.5% 30人以上 12.5%
外食業	20.0	0.0	80.0	27.7	28.2	44.1	10社(回収率100.0%) 30人未満 10.0% 30人以上 90.0%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」食料品・金属加工・一般機械が増加するも、全体は減少

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(29%)が13ポイント減少、「減少」割合(46%)が4ポイント増加、「不変」割合(25%)が9ポイント増加で、全体としては減少の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	42.4	15.2	42.4
	今回	増加 29.0	不変 24.6	減少 46.4
食料品		56.3	12.4	31.3
金属加工		23.1	23.1	53.8
一般機械		22.2	11.1	66.7
電気機械		33.3	50.0	16.7
自動車部品		0.0	25.0	75.0
精密機械		16.7	33.3	50.0

【業種別】 増加…食料品・金属加工・一般機械
減少…電気機械・自動車部品・精密機械

【機械稼働】 (前回比) 稼働率 横ばい

上昇割合 (26%) → 34%

下降割合 (12%) → 18%

【受注状況】 受注量 (前回比) 減少

増加割合 (29%) → 27%

減少割合 (14%) → 16%

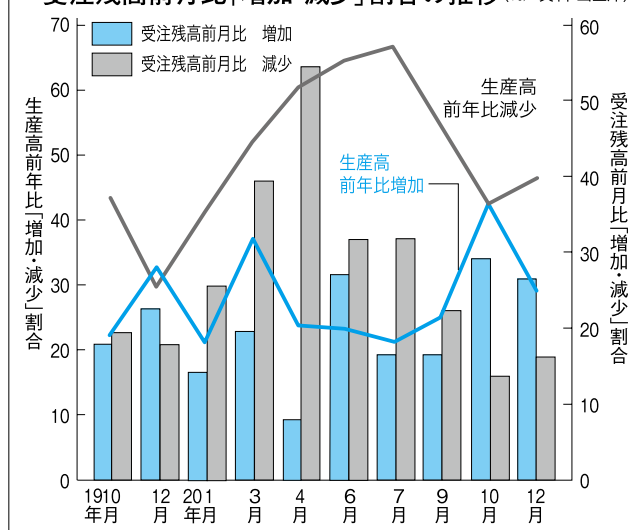
受注残高 (1.4ヵ月) → 1.6ヵ月

【受注基調】 (前回比) 減少

上昇割合 (31%) → 29%

下降割合 (16%) → 17%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(％/資料:当金庫)



企業からのコメント

☆★コロナの影響により、機内食用そばの売上はなくなったが、個人向けのネット販売の売上が伸びている。しかし、小口販売かつ取扱い件数の増加による対応に追われ人件費は増加している。

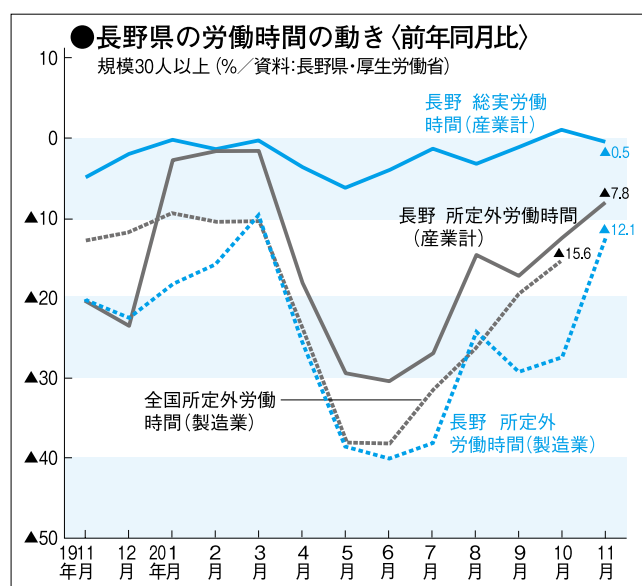
☆★受注は増加傾向だが、原料の値上げが予測されており対応を急ぎたい。(以上そば製造)

☆★大手週刊誌への広告掲載により、通信販売は2割増となったが、他は低調である。(味噌加工)

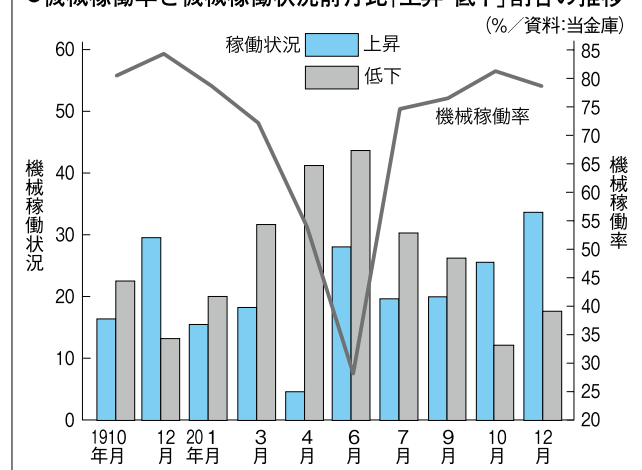
★GoToキャンペーンの一時中止で、お土産店向け商材の動きが極めて悪くなっている。(農産物加工)

☆コロナ禍の影響で、輸送用車両部品の受注は大幅に減少している。(輸送用機器部品)

☆コロナ禍であるのに、受注状況は安定している。しかし、状況次第では先が読めなくなる。(電子部品)



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(％/資料:当金庫)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」総合建設・建築は増加するも、全体は減少

概 況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前年に比べ「増加」割合(25%)が8ポイント減少、「減少」割合(34%)が3ポイント減少、「不変」割合(41%)が11ポイント増加し、全体としては減少の状況です。

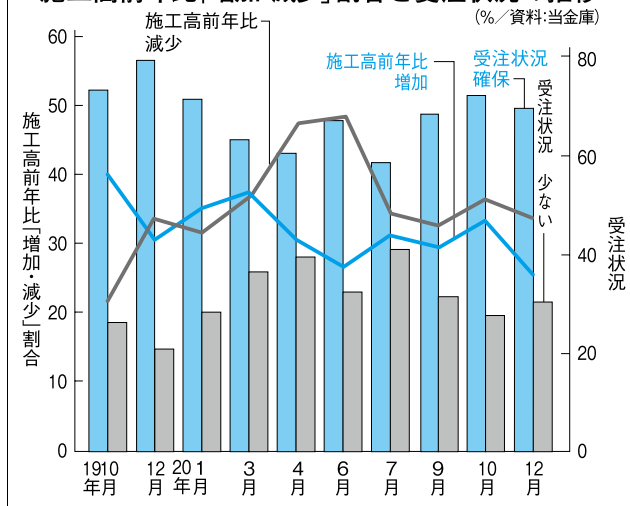
●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	33.3	30.2	36.5
	今回	増加 25.4	不変 40.7	減少 33.9
総合建設業		55.6	22.2	22.2
土木工事業		9.1	45.4	45.5
建築業		28.6	42.8	28.6
各種設備業		11.1	66.7	22.2

【業種別】 増加…総合建設・建築
減少…土木工事・各種設備

【受注状況】 受注残高(前回比) 横ばい
「多い・適正」割合 (72%) → 70%
「少ない」割合 (28%) → 31%

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移



企業からのコメント

- ★☆☆コロナの影響で、住宅用土地の引合いは減っているが、低価格の物件には動きがある。(総合建設)
- ★☆☆予算がなければ発注がされず、発注されても入札で当たらなければ受注も出来ない。どんな仕事、商売でもリスクはあるのに、飲食業界だけに補助が出るのは釈然としない。(土木工事)
- ☆☆★仕事は増加傾向にあるが、人手不足の状態で施工の遅れが生じている。(造園業)

4～12月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4～12月の発注合計は、2,234.5億円(前年同期比+36.7%)となりました。「国」の388.1億円(同+39.2%)、「県」の716.3億円(同+39.7%)、「市町村」の654.0億円(同+11.5%)、「そのほか」の465.5億円(同+84.8%)で、すべてプラスでした。

北信地区市町村の発注合計は179.3億円(同▲3.1%)で、うち長野市は95.2億円(同▲3.0%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2020年12月/2020年4月～12月累計)

(単位=百万円/資料: 東日本建設業保証株)

		2020年12月	前年同月比	2020年4月～12月	前年同期比
長野県	国	784	21.5%	38,813	39.2%
	県	3,733	69.1%	71,634	39.7%
	市町村	4,589	4.9%	65,400	11.5%
	そのほか	2,490	1,781.3%	46,551	84.8%
	合計	11,595	57.6%	223,445	36.7%
北信地区	市町村	1,085	▲35.1%	17,930	▲3.1%
	(内長野市)	716	▲15.2%	9,520	▲3.0%

4～12月の新設住宅着工戸数

長野県の4～12月の新設住宅着工戸数は9,426戸(前年同月比▲7.0%)でした。持家が5,208戸(同▲7.8%)、貸家が2,508戸(同▲18.7%)、分譲が1,450戸(同+4.5%)、給与が260戸(同+2,788.9%)です。

北信地区の4～12月の新設住宅着工戸数は2,450戸(同▲16.5%)でした。持家が1,396戸(同▲12.0%)、貸家が611戸(同▲27.2%)、分譲が431戸(同▲14.8%)、給与が12戸(同1100.0%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数

(2020年12月/2020年4月～12月累計)

(資料: 長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	12月	159戸	74戸	41戸	0戸	274戸
	(内長野市)	98戸	52戸	28戸	0戸	178戸
	前年同月比	14.4%	▲38.8%	▲6.8%	——	▲9.9%
	(内長野市)	8.9%	▲54.4%	▲9.7%	——	▲24.3%
	4～12月	1,396戸	611戸	431戸	12戸	2,450戸
長野県	前年同期比	▲12.0%	▲27.2%	▲14.8%	1100.0%	▲16.5%
	12月	634戸	219戸	141戸	0戸	994戸
	前年同月比	10.1%	▲46.8%	22.6%	▲100.0%	▲10.2%
	4～12月	5,208戸	2,508戸	1,450戸	260戸	9,426戸
	前年同期比	▲7.8%	▲18.7%	4.5%	2,788.9%	▲7.0%

卸小売業

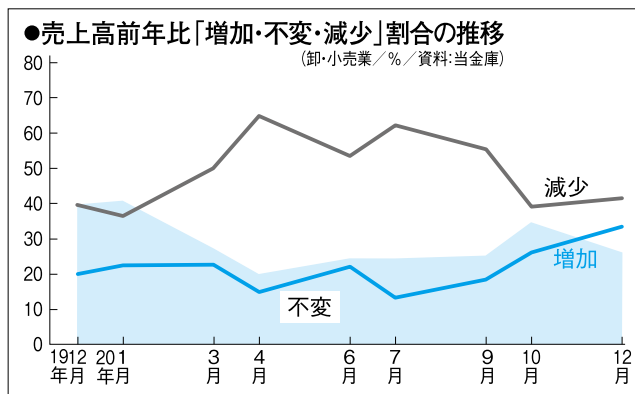
卸売業、小売業

「売上高」卸売は増加、小売は減少

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(33%)が7ポイント増加し、「減少」割合(41%)が2ポイント増加、「不変」割合(26%)が9ポイント減少し、全体として売上は増加の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	26.1	34.8	39.1
	今回	増加 32.6	不変 26.1	減少 41.3
卸 売 業		38.9	33.3	27.8
小 売 業		28.6	21.4	50.0



〔業 種 別〕 増加…卸売業 減少…小売業

12月の消費者物価指数(長野市) 2015年基準=100

◇総合指数(確報値)……102.0(3カ月連続マイナス)
(前月比▲0.5%、前年同月比▲1.4%)

上昇…「交通・通信」

下落…「光熱・水道」「食料」「家具・家事用品」「被服及び履物」
「保健医療」「教育娯楽」「住居」

◇生鮮食品を除く総合指数…102.0(3カ月連続マイナス)
(前月比▲0.3%、前年同月比▲1.3%)

企業からのコメント

- ☆今冬は積雪が多く、スタッドレスタイヤの売上が好調。また、新車購入もコロナ禍以前の水準に戻りつつある。(自動車関連)
- ★☆婦省客需要の減少とGotoキャンペーンの一時中止の影響で、年末の売上は伸び悩みとなるが、対前年比では微増となった。(スーパー)
- ☆「巣ごもり需要」なのか、炊飯器やレンジなどの調理家電と上位機種 of 掃除機の売上が好調。(家電小売)
- ★☆酒類は、飲食店向けが大幅にダウンするも、家庭向けが2・3割増加している。(酒類販売)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービス・輸送は増加、外食は減少

サービス業 売上高前年比「増加」割合は13ポイント増加の38%、「減少」割合は横ばいの63%、「不変」割合は13ポイント減少の0%と、売上は増加の状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は横ばいの10%、「減少」割合は30ポイント減少の50%、「不変」割合は30ポイント増加の40%と、売上は増加の状況。タクシーは横ばい、運輸は増加の状況です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は10ポイント減少の20%、「減少」割合は10ポイント増加の80%、「不変」割合は横ばいの0%と、売上は減少の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比12ポイントの減少、前年同月比も17ポイントの減少で、宿泊利用は伸び悩んでいます。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は10ポイント減少の50%、「引合いやや増加」は20ポイント減少の10%でした。

企業からのコメント

- ☆★年末の全日本フィギュアで稼働は上がったが、忘年会の雰囲気もなく異様な年末だった。(タクシー)
- ★年末年始用の食材などを仕入れ後、GoToトラベルの一時中止によりキャンセルの嵐。どこにも怒りを向けられず、辛い年越しになった。(和風旅館)
- ☆★荷動きは好転しているが、ドライバーのコロナ感染症対策の推進が急務となる。また今後の燃料高騰も懸念される。(トラック)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	25.0	12.5	62.5
	今回	増加 37.5	不変 0.0	減少 62.5
輸送業	前回	10.0	10.0	80.0
	今回	10.0	40.0	50.0
うちタクシー業		0.0	0.0	100.0
うち運送業		14.3	57.1	28.6
外食業	前回	30.0	0.0	70.0
	今回	20.0	0.0	80.0

北信地区の景気判断 ▲57 [良い]4% [悪い]61%

自社の業況が上向く転換点 「改善の時期はわからない」30%

アンケート
2021年の経営見通し ②
2020年12月調査

北信地区の景気判断 [良い] 4%、[悪い]61%の景気判断D・Iは▲57で、昨年より12ポイント悪化しています。

自社の業況が上向く転換点 「すでに上向いている」は9%で、昨年より2ポイント改善。「業況改善の時期はわからない」は30%となり、昨年より18ポイント改善しています。

た北信地区景気判断D・Iは▲57となり、昨年(▲45)より12ポイント悪化しています。

従業員規模で見ると、30人未満の▲58([良い]5%・[悪い]63%)に対して、30人以上は▲53([良い]3%・[悪い]56%)となりました。

北信地区の景気判断

昨年より12ポイント悪化 ▲45 → ▲57

「北信地区の景気は、良いと感じているか」を聞きました。

全産業では、「良い」(0.4%)と「やや良い」(4.0%)を合わせた[良い]は4%、「やや悪い」(37%)と「悪い」(24%)を合わせた[悪い]は61%、「どちらともいえない」は34%でした。[良い]から[悪い]を引い

業種別

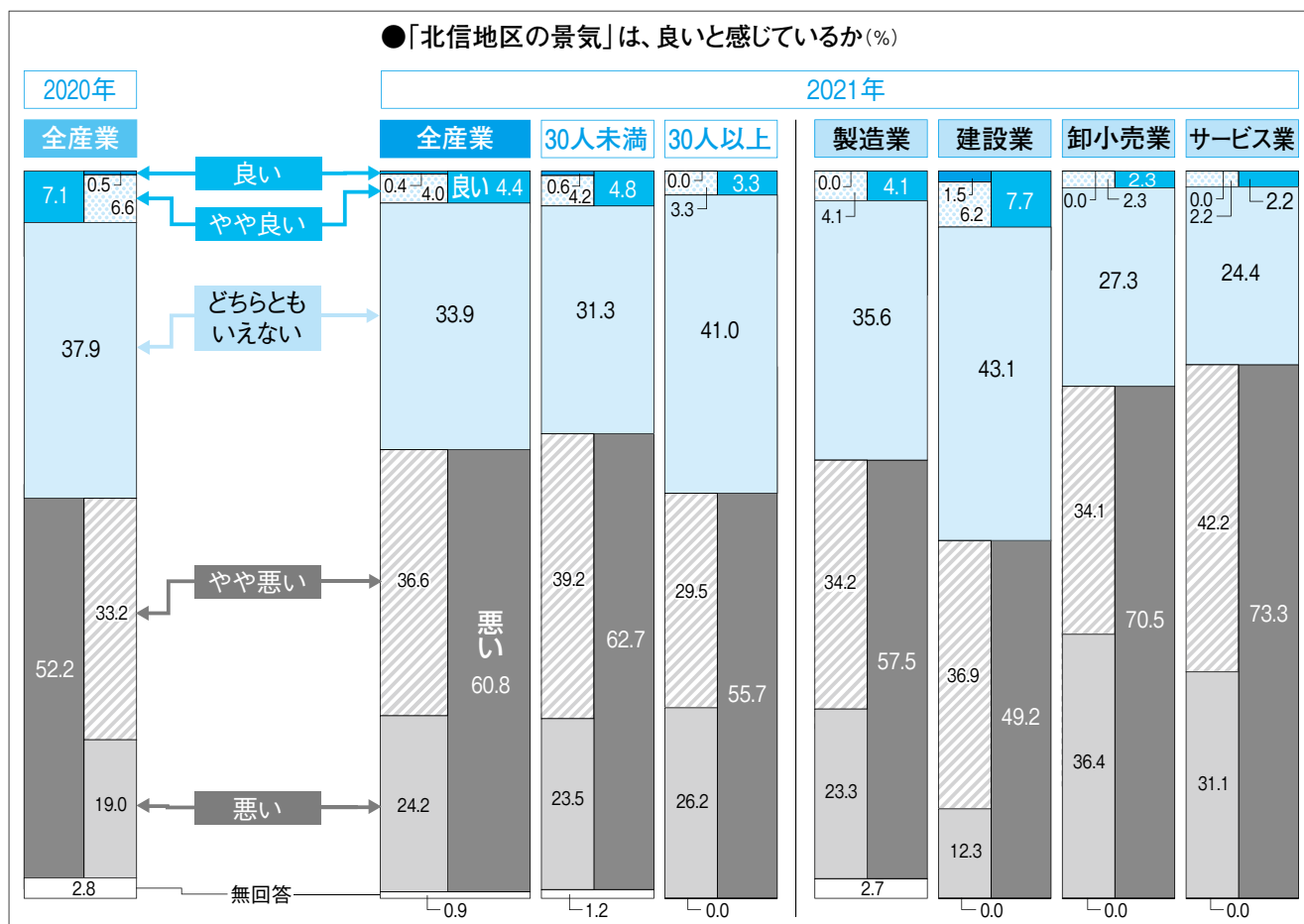
全産業より高いのは建設業と製造業

◇4業種(全産業比)

製造業 [良い] 4%、[悪い]58%の景気判断D・Iは▲54で、30人未満が▲62、30人以上が▲38です。

建設業 [良い] 8%、[悪い]49%の景気判断D・Iは▲41で、30人未満が▲42、30人以上が▲40です。

卸小売業 [良い] 2%、[悪い]71%の景気判断D・Iは▲69で、30人未満が▲78、30人以上が▲25



です。

サービス業 [良い] 2%、[悪い] 73%の景気判断
D・Iは▲71で、30人未満が▲57、30人以上が▲94
です。

業況が上向く転換点

「新型コロナ終息以降」32%

「自社の業況が上向く転換点は、いつ頃になると見通しているか」を聞きました。

全産業では、「すでに上向いている」が9%、「6カ月以内」が9%、「1年後」が14%、「2年超」が2%、「新型コロナウイルス終息以降」が32%となりました。「業況改善の時期はわからない」は30%で、昨年より18%改善しています。

従業員規模で見ると、「すでに上向いている」が30人未満5%に対して30人以上20%の15%差、「1年後」が30人未満15%に対して30人以上10%の5%差となりました。「わからない」は30人未満30%に対して30人以上28%の2%差となりました。ほかは僅差です。

業種別

「すでに上向いている」

製造12%～建設6%

◇4業種(全産業比)

製造業 「すでに上向いている」(12%)と「6カ月以内」(14%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「新型コロナ終息以降」(22%)は他業種に比べ最も低くなっています。

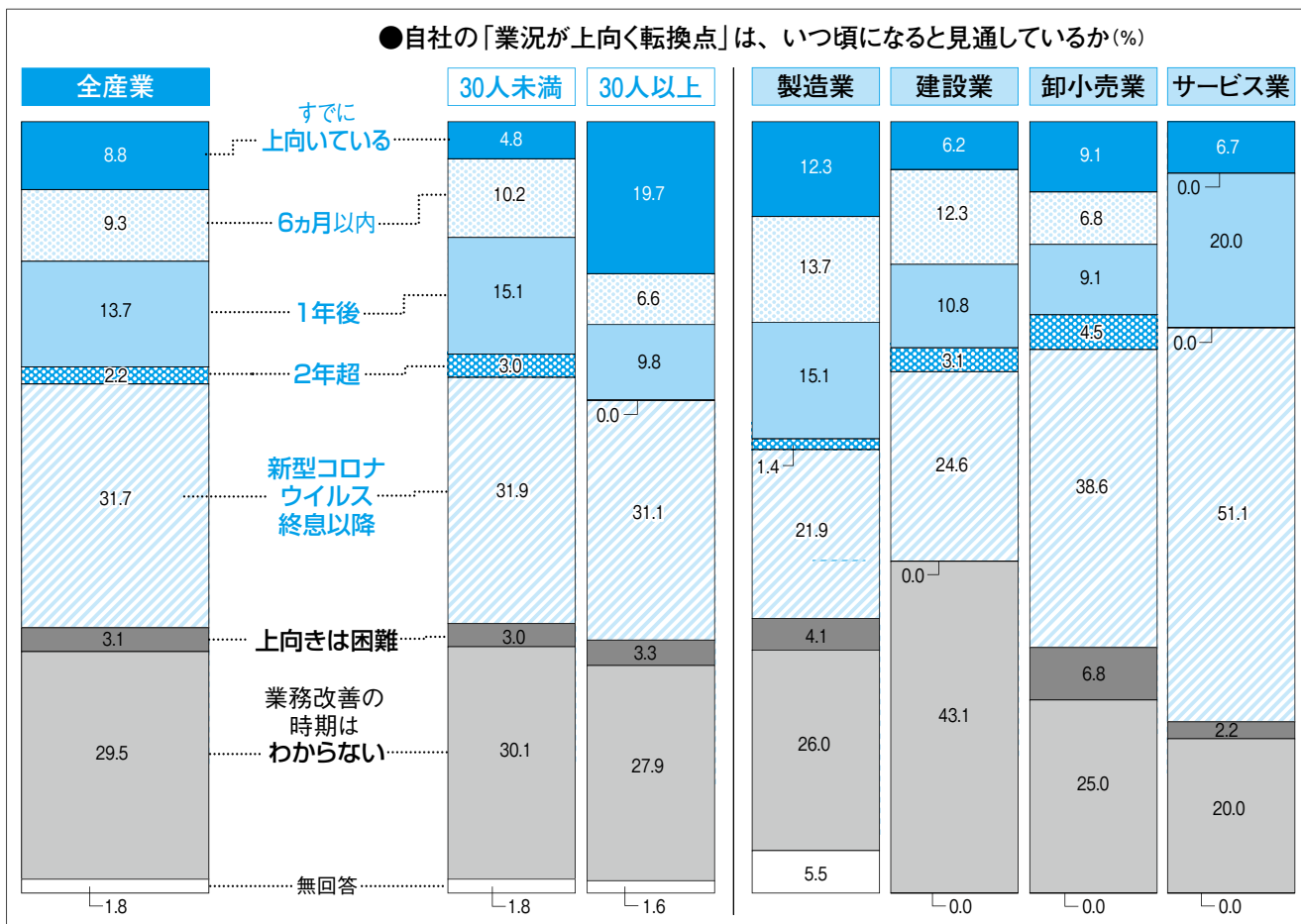
建設業 「わからない」(43%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「すでに上向いている」(6%)と「上向きは困難」(0%)は他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「2年超」(5%)と「上向きは困難」(7%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「1年後」(9%)は他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業 「1年後」(20%)と「新型コロナ終息以降」(51%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「6カ月以内」(0%)、「2年超」(0%)、「わからない」(20%)は他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「業界の市場の将来性」と

「重点的に取り組みたい経営課題」を予定





“地域密着型” 顧客と共に成長していく

有限会社 エム・プランニング
代表 茂木正久さま

●設立の経緯についてお伺いします…

長年、他業種のサラリーマンとして過ごしていましたが、1989(平成元)年、前職の会社に就職することになり、それが“広告業界”に飛び込んだきっかけとなりました。東京に本社があり、全国に支社を構える会社の長野支社に約10年勤務していました。

長野冬季オリンピック開催の翌年、1999(平成11)年にそれまでの仕事で培ってきたノウハウと自身の力を試してみたい気持ちから、一緒に働いていた仲間たちと、長野市内でこの会社を立ち上げ、23年目を迎えています。

●業務内容についてお聞かせください…

現在の当社のメイン業務は、“新聞媒体の記事下広告”の分野です。

具体的には、新聞社から記事下部分を買取る形で、当社において立案した独自の企画特集に賛同していただけるスポンサー企業から広告を募って紙面を構成し、新聞掲載しています。皆様がイメージしやすいのは、よく年頭や梅雨明けに目にする「謹賀新年」「暑中見舞い」の名刺広告でしょうか。現在の主な新聞媒体は『日本経済新聞』と『スポーツニッポン新聞』です。

他にも取引先のニーズに応じて、チラシやパンフレット、テレビやラジオなどの電波媒体を使った広告も取り扱っています。

●会社のポリシーに関してお聞きします…

設立当時は、既存の広告代理店と地元媒体との結びつきが強く、当社のような新規の企業が

入り込むにはなかなか難しいものがありました。

そこで、長野県内の読者が興味を持ちそうな企画特集を立案して、地元企業をターゲットに営業を展開。もちろん、地元で設立したての若い企業にもお声掛けさせていただいています。

自分たちの利益だけを追求するのではなく、“地域密着型”で、真心を込めてクライアントに接し、協賛してくださった企業の皆さんも繁栄していけるために何をすべきかを考え、業務に活かしています。

●“コロナ禍”の影響についてお聞きします…

一昨年の令和元年東日本台風の際には、取引のある企業の中で被災されたお客様もいらっしゃいました。災害復旧が一段落した直後に、今度は新型コロナウイルス感染症の拡大です。昨年1月頃は、まさかこんなにも長引くとは予想もしていませんでした。その影響もあって、当社の売上も、去年は前年度対比でかなり落ち込みました。長年取引をいただいても、今は広告を出すところまで力を入れてもらえない。そんな企業も多くありました。

第2波の感染が落ち着いてきた頃には売上げも徐々に回復してきましたが、昨年暮れからの第3波によって県内でも感染が広がり、どの地域でも大変な状況下にあります。さらに長期化すれば、今とは違った方策も考えていかなくてはなりません。

今までシリーズで新聞掲載してきた“飛躍をめざす我が郷土”特集を“がんばろう信州”に改名し、長野県全体を元気にしたいとの思いを強く持ち、今できることを常に考えています。

●今後の方針や夢などについて…

私がこの“広告業界”に飛び込んだ当時は、仕事のほとんどがアナログの時代でした。今はすべてがデジタル化され、私自身その変化についていくのに難しさを感じています。

若手社員には時代に沿った動きで前進していくことを期待しています。「今、何が必要とされるか」を素早く捉え、独自に新しいものを生み



当社が手がけた企画特集

出す力を鍛えていってほしいです。昨今、“活字離れ”“新聞離れ”と言われますが、その代わりとして身の回りの情報をパソコンやスマートフォンなどで取り入れる時代です。そんな現状も考えて、読者の生の声を紙面にも反映できることに活路を見出していきます。

私の夢は地域の人たちが気軽に集まり、語り合う“コミュニティ”を作ることです。自分がここまで来る中で、数多くの人に助けられました。その“恩返し”というと大袈裟ですが、仲間と一緒に楽しい時間を過ごせる場所を作ることができたらうれしいですね。



社屋

●事業の概要

設立 1999(平成11)年
 資本金 300万円
 代表者 茂木 正久
 従業員 8名(男6・女2)
 業務 広告企画・立案・制作
 事業所 長野市中御所4-6-12 NSビル 3F
 U R L <http://mpla.jp/company.html>

北信濃 江戸時代の風景

(78) 伊能忠敬、須坂から松代城下へ

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は伊能忠敬の『測量日記』を読みながら、北信濃の伊能忠敬の足跡をたどります。また伊能忠敬が作成した「大日本沿海輿地全図」(大図)の該当部分を紹介します。

伊能忠敬の測量隊が、享和2年(1802)10月の第1回に引き続き、2回目に北信濃を測量したのは、12年後の文化11年(1814)のことでした。飛騨から野麦峠(松本市奈川)を越えて信州に入った一行は、善光寺を経て、5月3日(現在の暦で6月20日)に須坂に宿泊しました。

伊能忠敬の『測量日記』より

5月4日(現在の暦で6月21日)

須坂から川田宿まで

晴天また曇。六つ時(午前6時)に須坂を出発。下町(春木町)から測量を始め、小山村の枝村八幡村の墨坂神社前までは12町30間(約1364m)でした。

ここは延喜式内社で、祭神は仲哀天皇・応神天皇・神功皇后で、祭礼は8月15日です。

市川(百々川)を渡りましたが、川原だけで水がありません。雨が降れば山々から水が流れ落ち、川となります。天領の米持村を通り、水のない鮎川の50間ほどの川原を渡って、幸高村を過ぎると、井上村です。ここは大笹街道の仁礼宿方面への道分です。(ここまで須坂市、以下長野市)

須坂藩領の綿内村牛池、同村大橋と過ぎて、一旦街道をはずれ、千曲川と犀川の合流点の更級郡牛島村までを測量しました。街道に戻り、菱川(保科川)を渡って、松代藩領川田村の又右衛門方(西澤家)で休憩しました。

川田宿から松代城下まで

川田宿を出ると左側に諏訪社(町川田神社)があります。関崎には左側に不動堂があり、大室村には右側に諏訪社(高井大室神社)があり、左に2



国立国会図書館蔵「大日本沿海輿地全図」(大図)より

町ほど入った所に臨済宗(実際には曹洞宗)の禅福寺があります。

埴科郡に入ると松代藩領の東寺尾村で、鳥打峠を越えると、左上30間ほど(約54m)の山上に愛宕社がありました。関屋川(蛭川)の土橋を渡ると、左に30間ほど入った所に真言宗の福德寺があります。右には真宗の万徳寺(正しくは万法寺)があり、左に30間ほど入った所には浄土宗の長明寺があります。横町の名主吉兵衛方で休憩しました。



川田宿の本陣・問屋を務めた西澤家

松代城下

真田氏十萬石の城下である松代は、家が393軒(武士は除く)あります。荒神町、中町と進むと、左に1町ほど入った所に浄土宗の西念寺があります。曹洞宗の長国寺は、真田幸隆が開基の寺です。延喜式内社の祝神社は、健御名方命と事代主命をまつっており、今は諏訪社と呼ばれています。

「大日本沿海輿地全図」(大図)を見る

「大日本沿海輿地全図」の、須坂(左下)から松代(右上)までの部分です。下が北で、上が南です。右上から中央下に向かって、千曲川が流れています。伊能忠敬の測量隊が歩いた道は、細い線で表されています。

須坂から牛島村まで

須坂の出口は現在の本町通りの中町交差点で、丁字路として描かれています。笠鉾会館やクラシック美術館の前を通る道が、松代方面に通じる街道(谷街道)です。道は右に折れて、墨坂神社の前を通ります。ここは「小山村枝」の「八幡村」です。百々川と鮎川を渡ると、「井上村」です。井上氏は井上氏が興った歴史のある地で、「古城」が描かれています。

この先は長野市若穂地区で、「綿内村」にはたくさんさんの枝村があります。ここから千曲川と犀川の合流点方面に線が描かれていて、「牛島村」(長野市若穂牛島)まで測量が行われたことを示してい

ます。「牛島村」はこの図では千曲川の両岸に分かれていて、「更科郡」(更級郡)であることが記されています。「牛島村」は明治22年に川田村と合併し、上高井郡に属しました。現在の牛島は千曲川の右岸に集落がありますが、堤防内の土地を含めると千曲川の両岸にまたがっています。

川田宿から松代城下まで

保科川を渡ると「川田村」で、川田宿が富士山の頂上のような直線で描かれています。この宿場は、屋代宿で北国街道と分かれ、松代宿、川田宿、福島宿、長沼宿、神代宿を経由して牟礼宿に通じる北国脇往還の宿場として栄えました。

「大室村」(長野市松代町大室)は元々高井郡に属していましたが、明治22年に寺尾村に合併したため、埴科郡に所属が変わりました。鳥打峠を越え、「東寺尾村」に出て蛭川を渡ると、松代城下に入ります。

伊能忠敬の測量データ(『大日本沿海実測録』より)

須坂下町～綿内村	1里22町54間(約6426m)
綿内村～川田宿	12町31間(約1365m)
川田宿～松代伊勢町	2里2町25間(約8118m)
(1里=36町、1町=60間)	

3月号は「伊能忠敬、松代城下から下戸倉宿へ」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)

●北信地区の景気

2020年 ▲70 2019年(▲18) に比べ52ポイント悪化

「北信地区の景気は良いと感じているか」を聞きました。

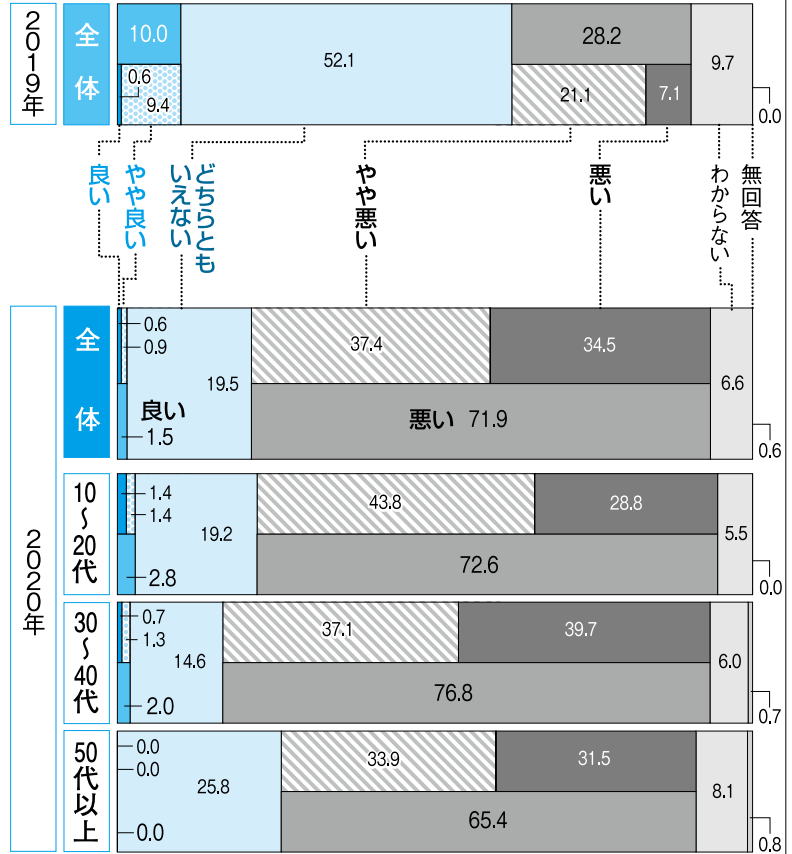
「良い」(1%)と「やや良い」(1%)を合わせた[良い](2%)から「やや悪い」(37%)と「悪い」(35%)を合わせた[悪い](72%)を引くと、景気判断D・Iは▲70となり、2019年(▲18)に比べ52ポイント悪化しました。

男女別では、男性が▲75、女性が▲63で、女性が12ポイント高くなりました。

世代別では、10～20代が▲70、30～40代が▲75、50代以上が▲65で、10ポイント差となりました。

〈当金庫・2020年12月調査〉

●北信地区の景気は良いと感じているか(%)



●みなさまの税務相談のご案内 [3月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
3月 2日 火	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	3月 16日 火	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)
3日 水	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	18日 木	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
4日 木	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	19日 金	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
9日 火	大豆島支店 (長池支店)		23日 火	本店営業部	
11日 木	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	25日 木	本部	
12日 金	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	26日 金	本部	

●3月の「しんきん事業相談会」は3月3日(水)です



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

